

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理は、税込により処理している。

(2) 引当金の計算基準

退職給付引当金: 役員及び職員の退職給付に備えるため期末における要支給額を計上している。

(3) 会計方針は、特に変更なし。

2. 基本財産及び特定財産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(1) 基本財産				
定期預金	1,000,000	0		1,000,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	123,000	220,000	0	343,000
合 計	1,123,000	220,000	0	1,343,000

3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(内指定正味財産からの充当額)	(内一般正味財産からの充当額)	(内負債に対する額)
(1) 基本財産				
定期預金	1,000,000	—	(1,000,000)	—
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	343,000	—		(343,000)
合 計	1,343,000	—	(1,000,000)	(343,000)

4. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
(1) 流動資産		
現金預金	6,665,394	5,961,258